

2012年(平成24年)10月期 期末決算説明資料

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長

宮崎 勝

取締役経営管理部長

伊藤 純一郎

留意事項

このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ホームページ『IR情報/IR資料室：決算説明資料等』に掲載します。

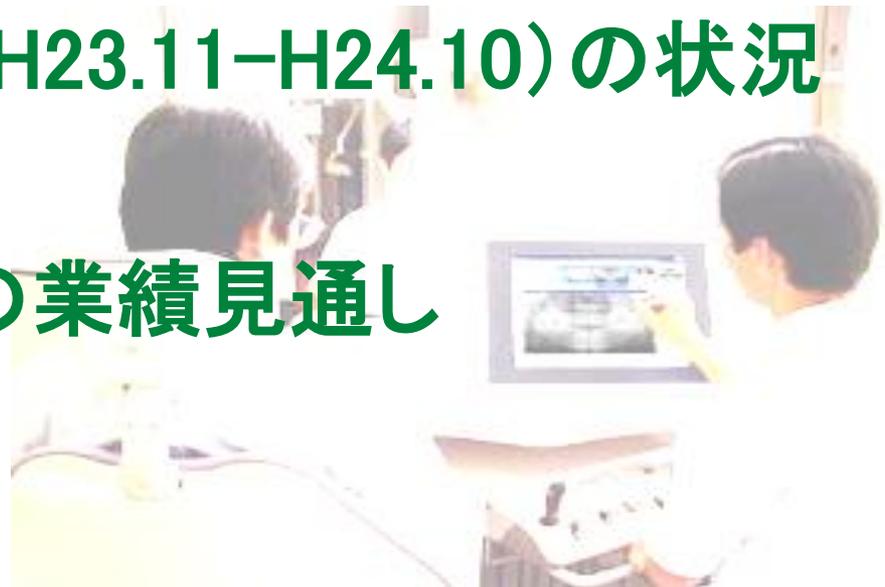
URL <http://www.softs.co.jp/ir/financial/setumei.html>

このプレゼンテーション資料には、2013年1月9日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。国内外の経済環境・競合状況の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる場合があります。

※このプレゼンテーション資料の金額は切り捨てで表示しています。

アジェンダ

1. 会社紹介
2. 業界動向
3. 平成24年10月期(H23.11-H24.10)の状況
4. 今後の戦略
5. 平成25年10月期の業績見通し
6. 質疑応答



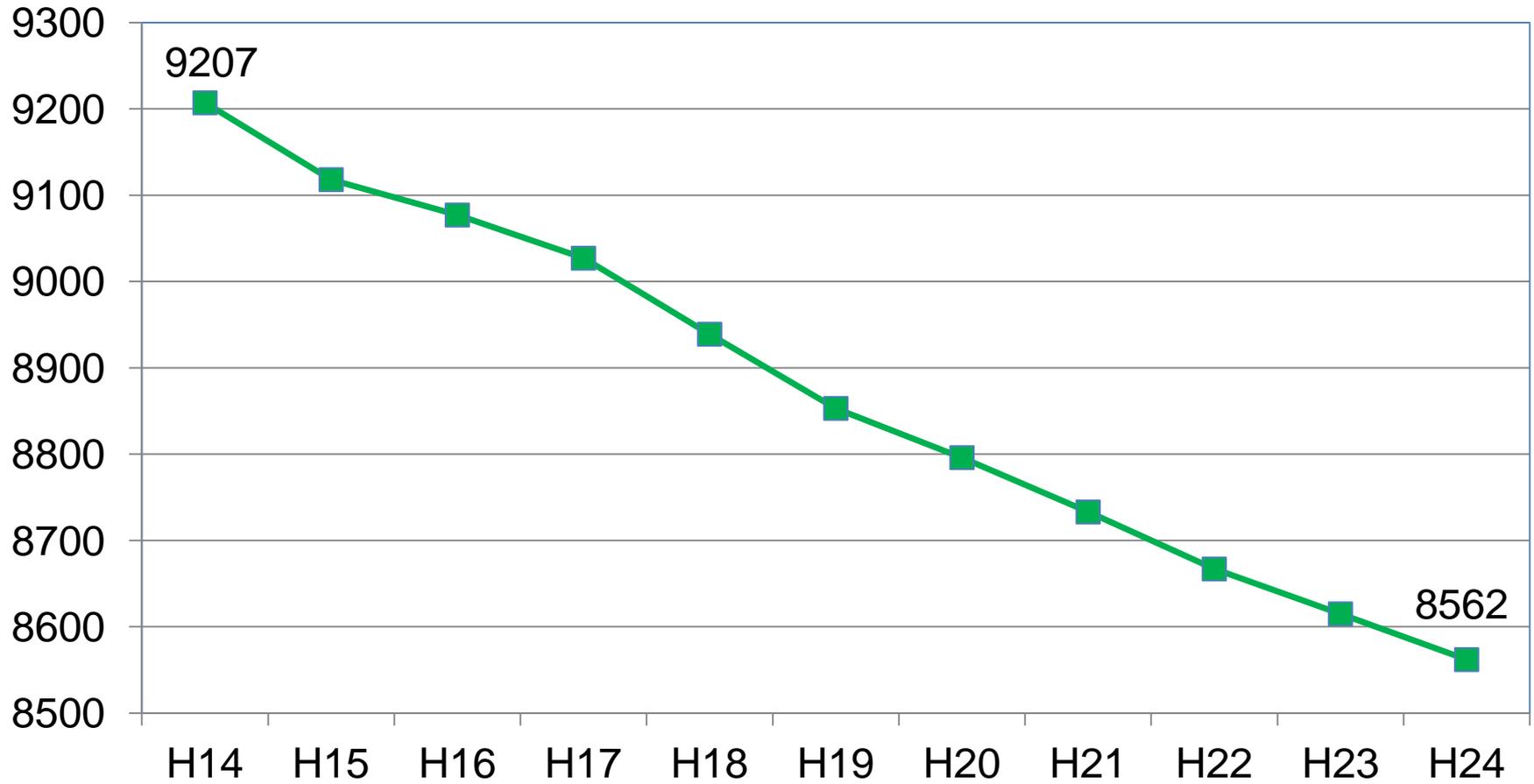
1. 会社紹介

会社概要

- 社名 株式会社ソフトウェア・サービス
- 所在地 本店：大阪市淀川区西宮原1-7-38
本社：大阪市淀川区宮原4-2-30（平成20年5月19日移転）
- 設立 昭和44年4月
- 従業員 647名（平成24年10月31日現在）
- 資本金 847百万円（ジャスダック上場・平成16年2月20日）
- 事業内容 医療情報システム（専門特化）の開発・販売・指導・保守
- ユーザー 346ユーザー <うち電子カルテユーザー：279 >（H24.10現在）
- 特徴
 - ①専門特化
 - ②創造価値
 - ③自主独立⇒この3原則により「医療」「システム」の膨大なノウハウを蓄積し、「高品質・高機能」「適正価格」「顧客満足向上」を実現

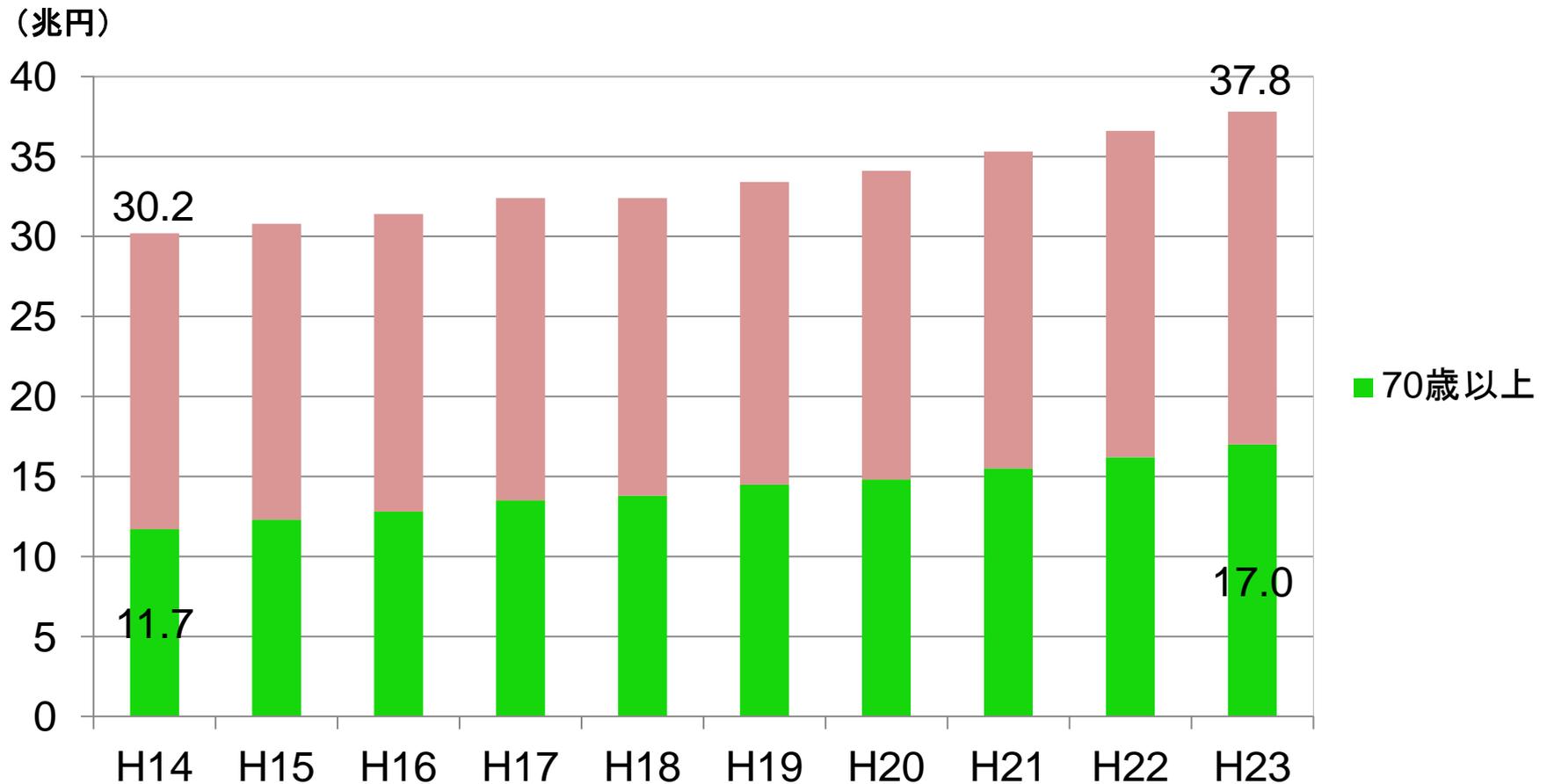
2. 業界動向

病院施設数の推移



(厚生労働省 医療施設調査:平成14年10月～平成24年10月)

概算医療費の推移



(厚生労働省 概算医療費データベース:平成14年～平成23年)

増大する医療費

■ 2011年度の概算医療費

⇒ 2011年度の概算医療費が、前年度比3.1%増の37兆8000億円となった。増加は9年連続で、過去最高。

⇒ 70歳以上の医療費は、全体の45%。

※国民が1年間に使った医療費の総額を示す国民医療費から全額自己負担分等を差し引いたもの。国民医療費の98%程度とされ、国民医療費の発表より1年早く、速報値とされる。

政権交代の影響

- 国民皆保険制度は維持。消費税は、全額社会保障に使用する(自民党総合政策集より)。



- ⇒国民が必要な時に質の高い医療が受けられるように、地域において必要な医療を確保する。
- ⇒地域医療の中核的な役割を担う公立病院は、その約5割が赤字決算。地方交付税などによる適切な財政支援を行う。
- ⇒国民健康保険の運営単位を、都道府県単位へ。
- ⇒高額療養費の限度額の引き下げ。

- ⇒70～74歳の窓口負担を1割から2割へ引き上げといった高齢者の自己負担額の増加は、当面見送られる方針。

業界状況(1)

■ 医療機関のIT化

- ・高齢化等に伴う医療費の増大、財政の悪化を受けて、医療の効率化・コスト削減は必須である。
- ・医療費削減のためには、ITを活用した「検査等の重複の削減」と、「予防医療(病診連携等によるスムーズな受診やEHR＝電子健康記録の活用)」が今後重要であり、そのためには医療機関のIT化は避けては通れないものである。

業界状況(2)

■ 行政の動向

- ・「どこでもMY病院」構想では、個人の治療情報等を電子化して管理するため、患者が自分の情報を持ち歩ける。それにより、検査や投薬の重複を防ぐことができる。
- ・厚労省では、ワーキンググループを設けて、マイナンバーや医療等ID(仮称)に関する検討を引き続きおこなっている。



医療機関のIT化は必須

業界状況(3)

■ 電子カルテの普及状況

- ・電子カルテの導入数は、1559病院。普及率は約18%。
- ・当社シェアは、279ユーザーにて、約17.9%。

⇒医療機関においては、従来より電子化のニーズは多分にあったが、2010年・2012年の診療報酬プラス改定による投資マインドの向上や医療機関同士の連携意識の高まり、および病院の建替え需要などから、引合いは増えている状況である。

(数値は「月刊新医療 医療機器システム白書2012～2013」より)

3. 平成24年10月期(H23.11-H24.10)の状況

お知らせ

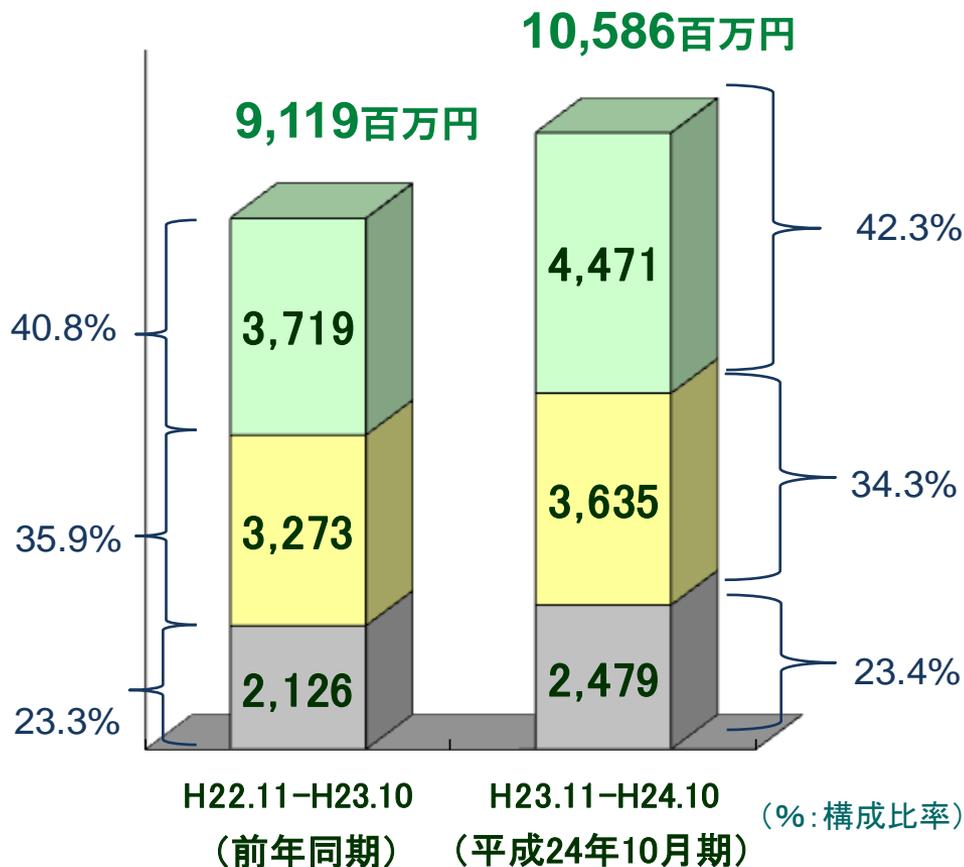
当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月へ変更していることから、平成24年10月期(平成23年11月1日から平成24年10月31日)に対応する前年同事業年度がないため、前年同期(平成22年11月1日から平成23年10月31日)との比較を記載しております。

業績の概要（前年同期比較）

【単位：百万円】

	H22.11-H23.10 （前年同期）		H23.11-H24.10 （平成24年10月期）		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	9,119	100.0%	10,586	100.0%	+16.1%
売上総利益	2,750	30.2%	3,195	30.2%	+16.2%
営業利益	1,770	19.4%	2,426	22.9%	+37.1%
経常利益	1,815	19.9%	2,438	23.0%	+34.3%
当期純利益	1,065	11.7%	1,398	13.2%	+31.3%

売上高構成比(前年同期比較)



【総売上高】

1,467百万円増 (+16.1%)

ソフトウェア売上高

751百万円増 (+20.2%)

ハードウェア売上高

362百万円増 (+11.1%)

保守売上高

352百万円増 (+16.6%)

注:()内は増減率

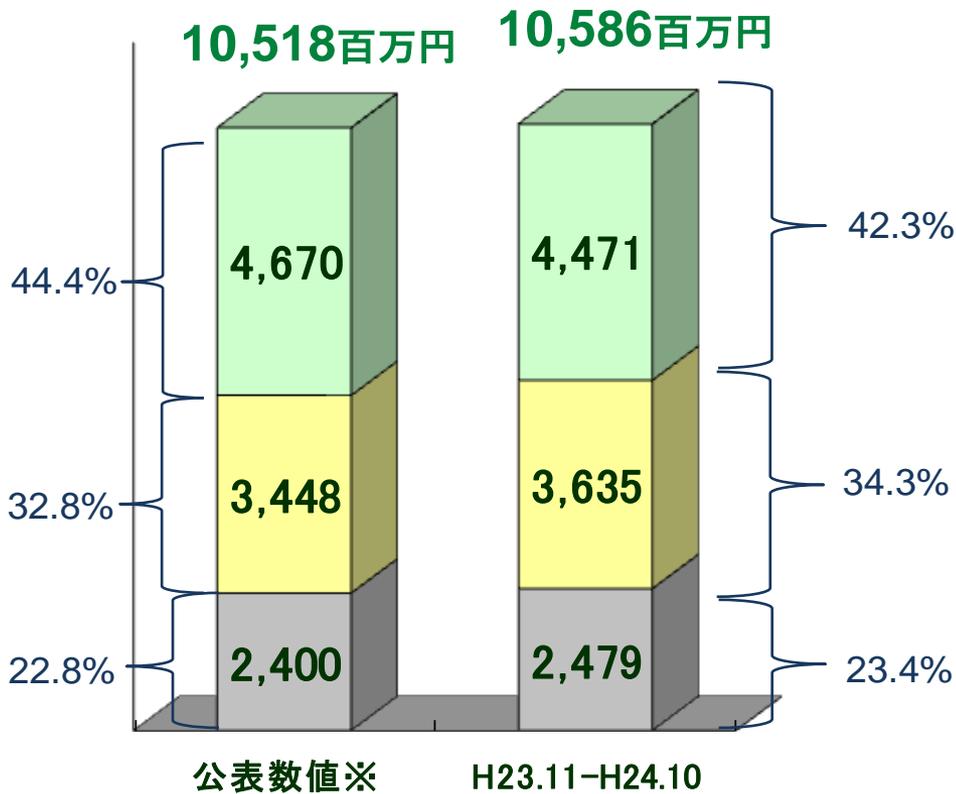
業績の概要（公表数値比較）

【単位：百万円】

	公表数値(※)		H23.11－H24.10 (平成24年10月期)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	10,518	100.0%	10,586	100.0%	+0.6%
売上総利益	3,165	30.1%	3,195	30.2%	+1.0%
営業利益	2,253	21.4%	2,426	22.9%	+7.7%
経常利益	2,262	21.5%	2,438	23.0%	+7.8%
当期純利益	1,357	12.9%	1,398	13.2%	+3.0%

※ 平成23年12月9日公表

売上高構成比(公表数値比較)



【総売上高】

67 百万円 増 (+0.6%)

ソフトウェア売上高

198 百万円 減 (△4.3%)

ハードウェア売上高

186 百万円 増 (+5.4%)

保守売上高

79 百万円 増 (+3.3%)

注: ()内は増減率

公表数値※ H23.11-H24.10 (%:構成比率)
 ※ 平成23年12月9日公表 (平成24年10月期)

上期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
1	11月	明石リハビリテーション病院	97	導入済	●
2	11月	同仁病院	154	●	●
3	11月	屋久島徳洲会病院(徳洲会グループ)	139	●	●
4	11月	加戸病院	88	●	●(翌年2月)
5	12月	巽病院	75	●	—
6	12月	みどり病院	110	●	●
7	12月	調布東山病院	83	●	●
8	12月	箕面市立病院(公的) ※①	317	●	●
9	1月	長崎北徳洲会病院(徳洲会グループ)	108	●	●
10	1月	順天堂東京江東高齢者医療センター(準公的)	348	●	—
11	1月	川南病院(徳洲会グループ)	172	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

上期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
12	1月	美希病院	249	●	●
13	1月	南大阪病院	400	●	●
14	1月	大崎市民病院 鹿島台分院(公的)	70	導入済	●
15	2月	山本第三病院	270	●	●
16	2月	栗原中央病院(公的)	300	●	●
17	2月	大崎市民病院 鳴子温泉分院(公的)	130	導入済	●
18	2月	沖縄県立 北部病院(公的)	327	●	●
19	3月	宮古島徳洲会病院(徳洲会グループ)	80	●	●
20	3月	済生会泉尾病院(公的)	470	●	●
21	3月	非公開	131	導入済	●
22	4月	富山協立病院	174	●	●

上期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダーリング	e-カルテ
23	4月	笛吹中央病院	150	●	●
24	4月	相模原中央病院	169	●	●
25	4月	大崎市民病院 岩出山分院(公的)	40	●	●
26	4月	川口工業総合病院	199	●	●

下期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
27	5月	岡山赤十字病院(公的)	500床	●	●
28	5月	下田メディカルセンター	154床	●	●
29	5月	那須南病院(公的)	150床	●	—
30	5月	龍ヶ崎済生会病院(公的)	210床	●	●
31	6月	東川口病院	198床	●	●
32	6月	千秋病院	244床	導入済	●
33	7月	鹿児島医療センター(公的)	370床	●	●
34	7月	大門病院	106床	●	●
35	7月	大隅鹿屋病院(徳洲会グループ)	313床	導入済	●
36	7月	新小文字病院	229床	●	●
37	7月	那須赤十字病院(公的)	454床	導入済	●

下期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
38	8月	三郷中央総合病院	303床	●	●
39	8月	非公開	113床	●	—
40	8月	岸和田盈進会病院	157床	●	●
41	8月	市立芦屋病院(公的)	199床	●	●
42	9月	高の原中央病院	249床	●	●
43	9月	四街道徳洲会病院(徳洲会グループ)	199床	導入済	●
44	9月	医真会八尾総合病院	301床	導入済	●
45	9月	児島中央病院	231床	導入済	●
46	10月	美山病院	212床	●	●
47	10月	京都逋信病院	99床	●	●
48	10月	北陸中央病院(準公的)	199床	導入済	●

下期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
49	10月	神戸徳洲会病院(徳洲会グループ)	229床	導入済	●
50	10月	白鬚橋病院	199床	●	●

診療所・クリニックはプロジェクトとしてカウントしておりません。

<グループ病院の累計数> 平成24年10月末現在
徳洲会:47病院(全67病院)、セコムグループ:8病院(18病院)

4. 今後の戦略

今後の戦略 <システム面>

■ 専門特化の強みを活かした製品ラインアップ

1. 介護系システムの拡販。

⇒ 訪問看護介護・通所介護・入所介護・居宅介護

2. 「新規開発室」を設置。

⇒ 財務会計システム等病院経営に寄与するシステム開発を強化。

3. 地域医療連携への取組も強化。

今後の戦略 <ハード面>

■スマートフォン・タブレット端末への対応

「Newtons Mobile」

⇒e-カルテシステムとリアルタイムで連携。

⇒バーコードによる指示情報の照合・実施入力。

⇒ios端末やAndroid端末に対応。

※2013年4月リリース予定。

今後の戦略 <子会社活用>

■ 株式会社エスエスサポートの事業展開

- ・ソフトウェアサービス100%出資子会社
- ・従業員数 37名

- ・医療機関内における電子カルテなどの医療情報システムの導入・運用・保守・受託管理をおこなうとともに、システム管理者研修会なども実施。

今後の戦略 <新本社ビル建設>

■ 新拠点設置 ～持続的な成長に向けて～ 「新本社ビル概要」

⇒現在の2拠点を集約し、生産性をアップ。

- ・現在の本社ビルより、西へ300m。
- ・1500名収容。
- ・免震構造の9階建。延床面積約13500㎡。
- ・病院データを預かるバックアップセンターを設置。
- ・2014年7月末完成予定。

今後の戦略 <人事面>

経営戦略に適合した人材採用・育成計画

計画的な人材採用（新卒100名強＋キャリア）

2012年4月 107名入社 2013年4月 115名入社予定

生産性を高めるための取組み

人財部を設置。採用・教育・評価・賃金設定をより効果的に。

スキルマップの作成による能力の洗い出し。研修強化。

5. 平成25年10月期の業績見通し

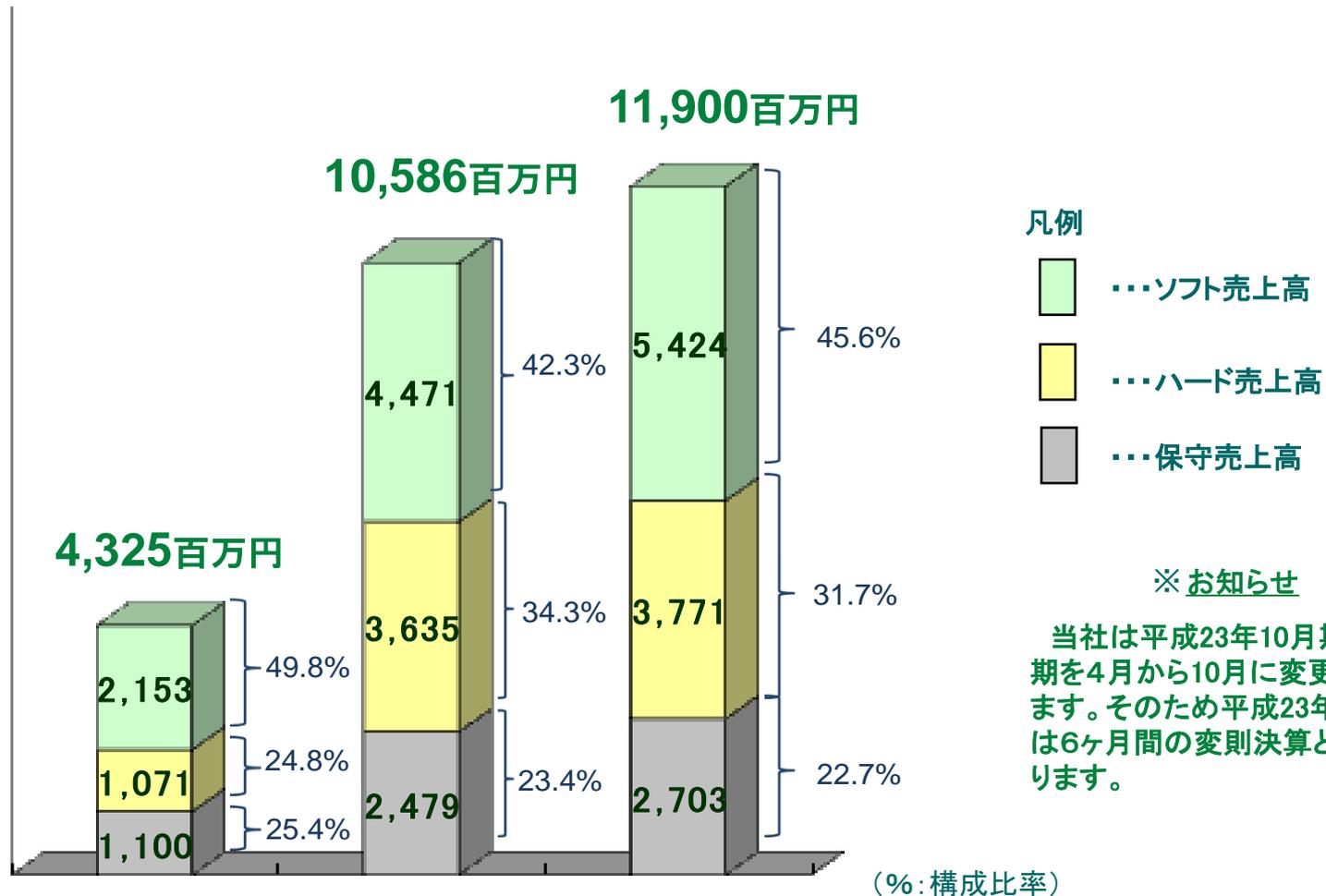
業績の概要（実績及び見通し）

【単位：百万円】

	H23/10 実績※		H24/10 実績		H25/10 見通し	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	4,325	100.0%	10,586	100.0%	11,900	100.0%
売上総利益	1,362	31.5%	3,195	30.2%	3,907	32.8%
営業利益	886	20.5%	2,426	22.9%	3,008	25.3%
経常利益	892	20.6%	2,438	23.0%	3,020	25.4%
当期純利益	522	12.1%	1,398	13.2%	1,872	15.7%
1株当たり 当期純利益	97円89銭	—	264円09銭	—	353円65銭	—

※当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

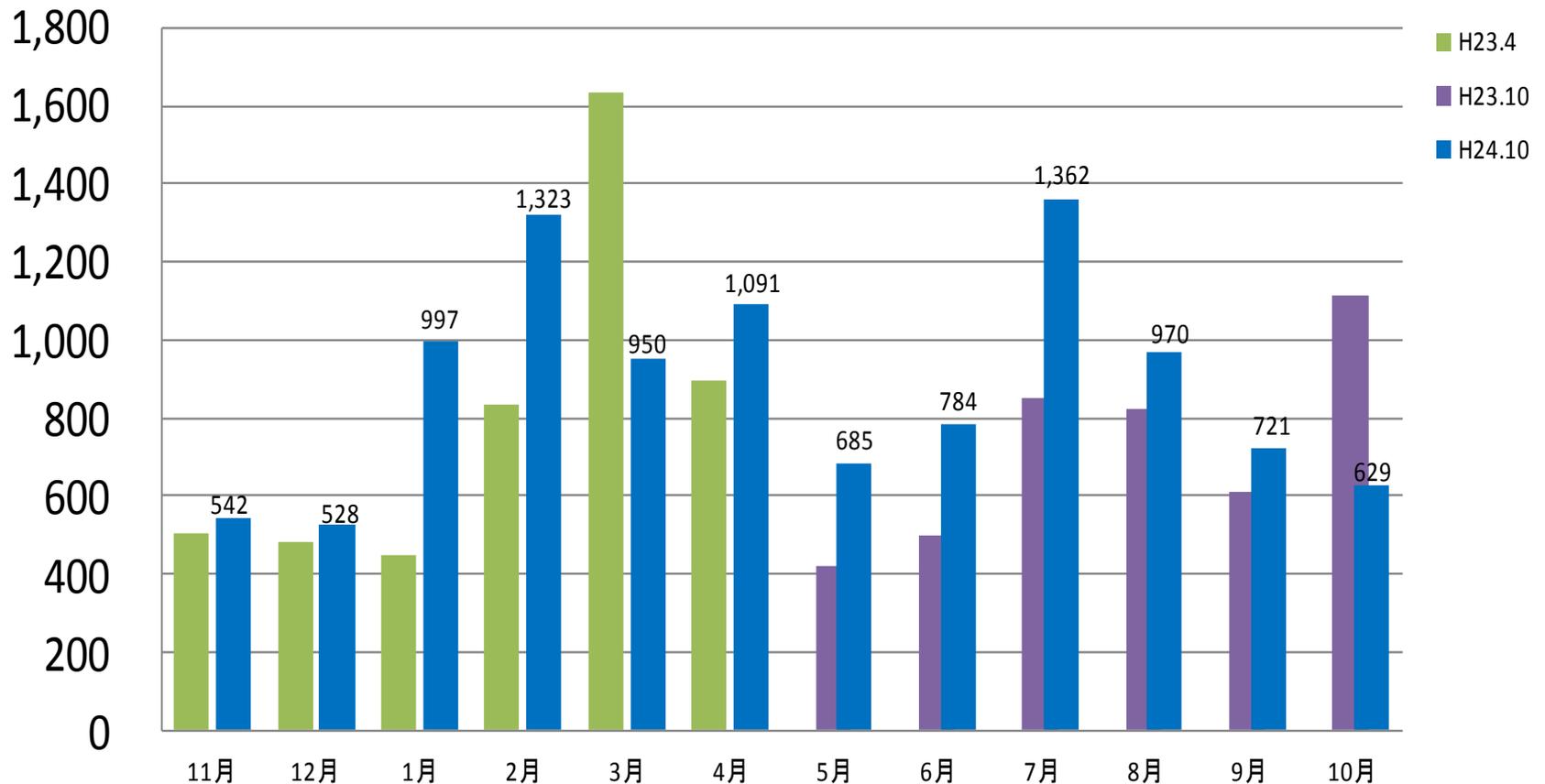
売上高構成比



※ H23/10 実績 H24/10 実績 H25/10 見通し

売上高の月次推移

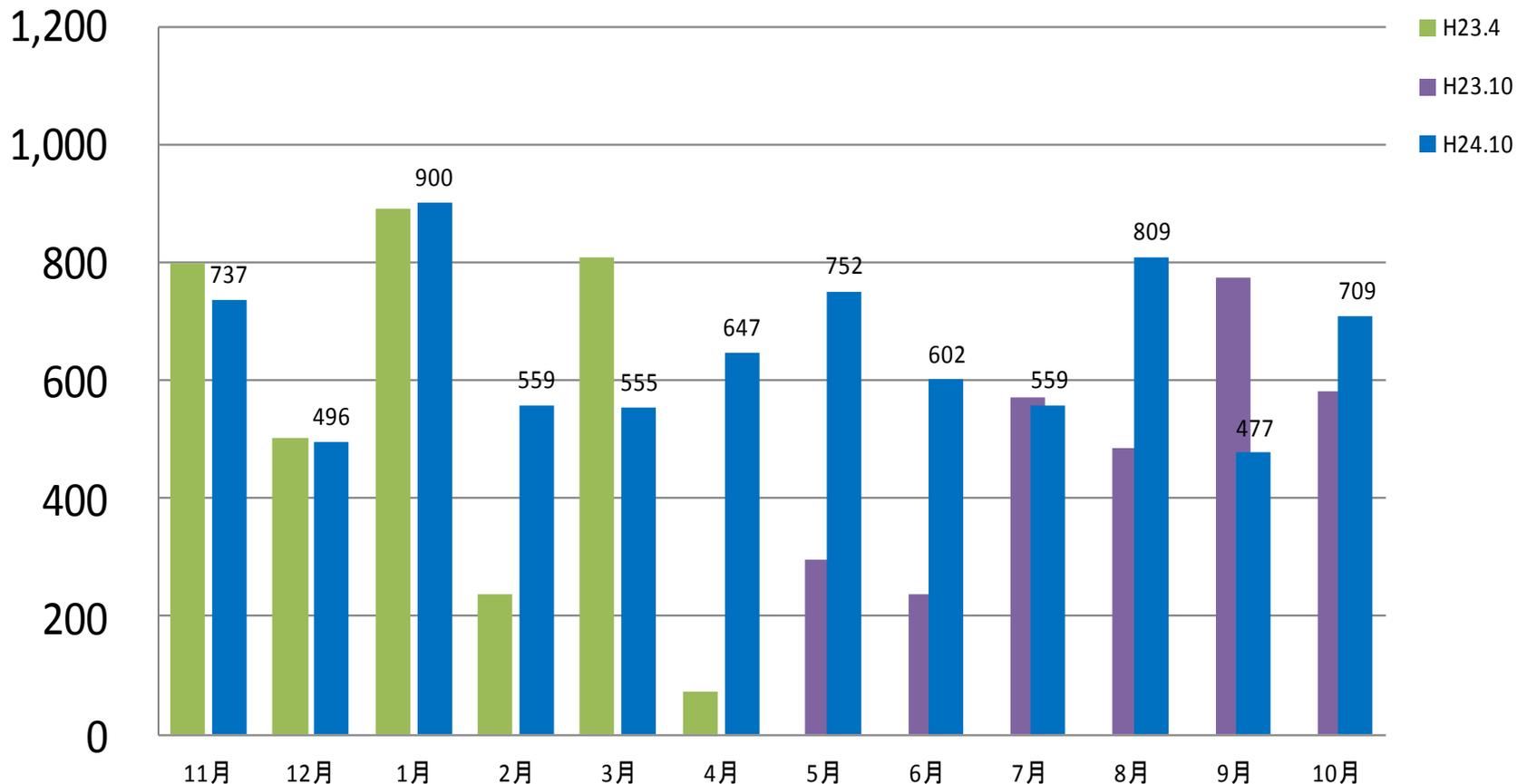
【単位：百万円】



当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。
そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

受注高の月次推移

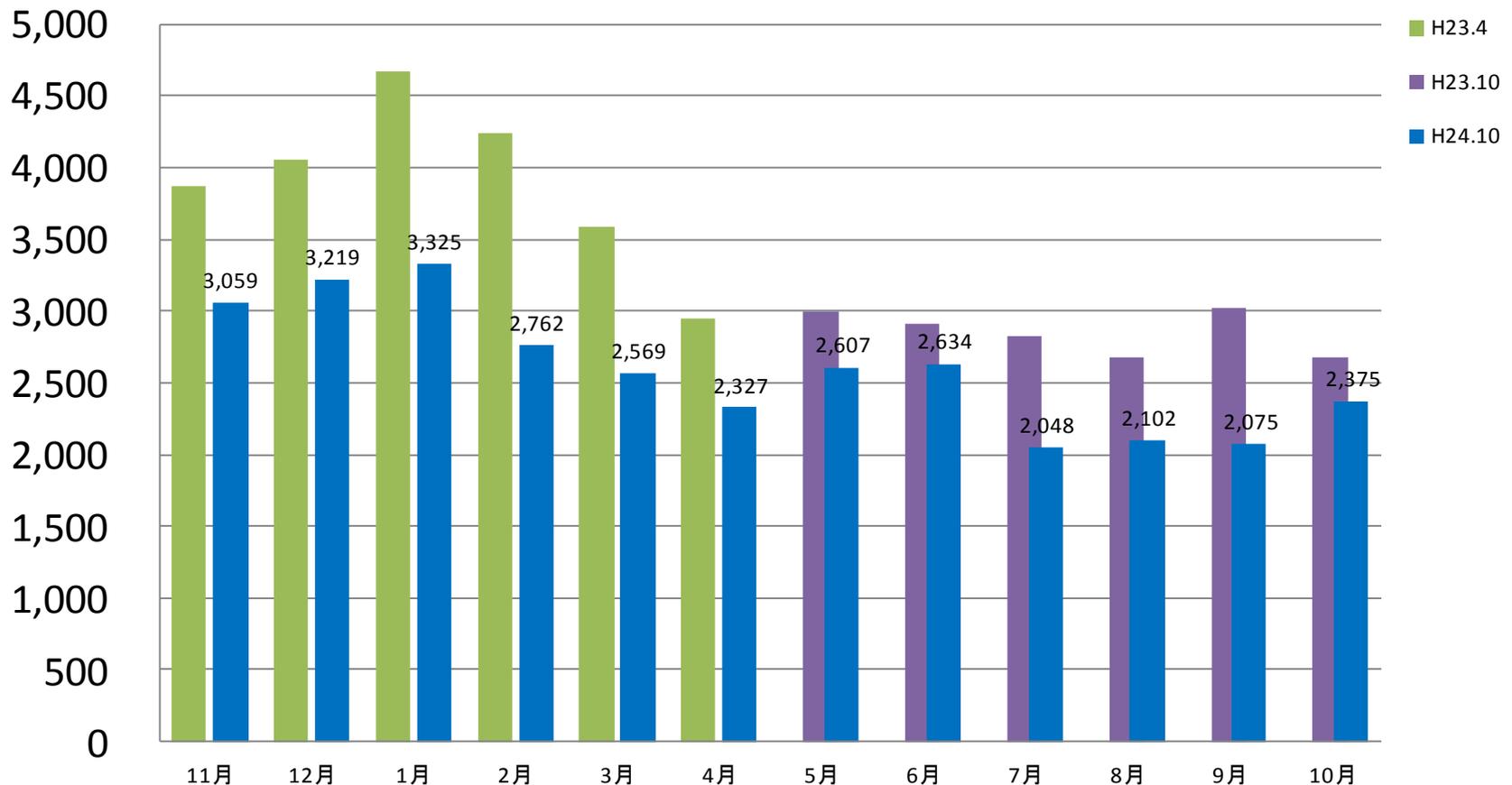
【単位：百万円】



当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。
そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

受注残高の月次推移

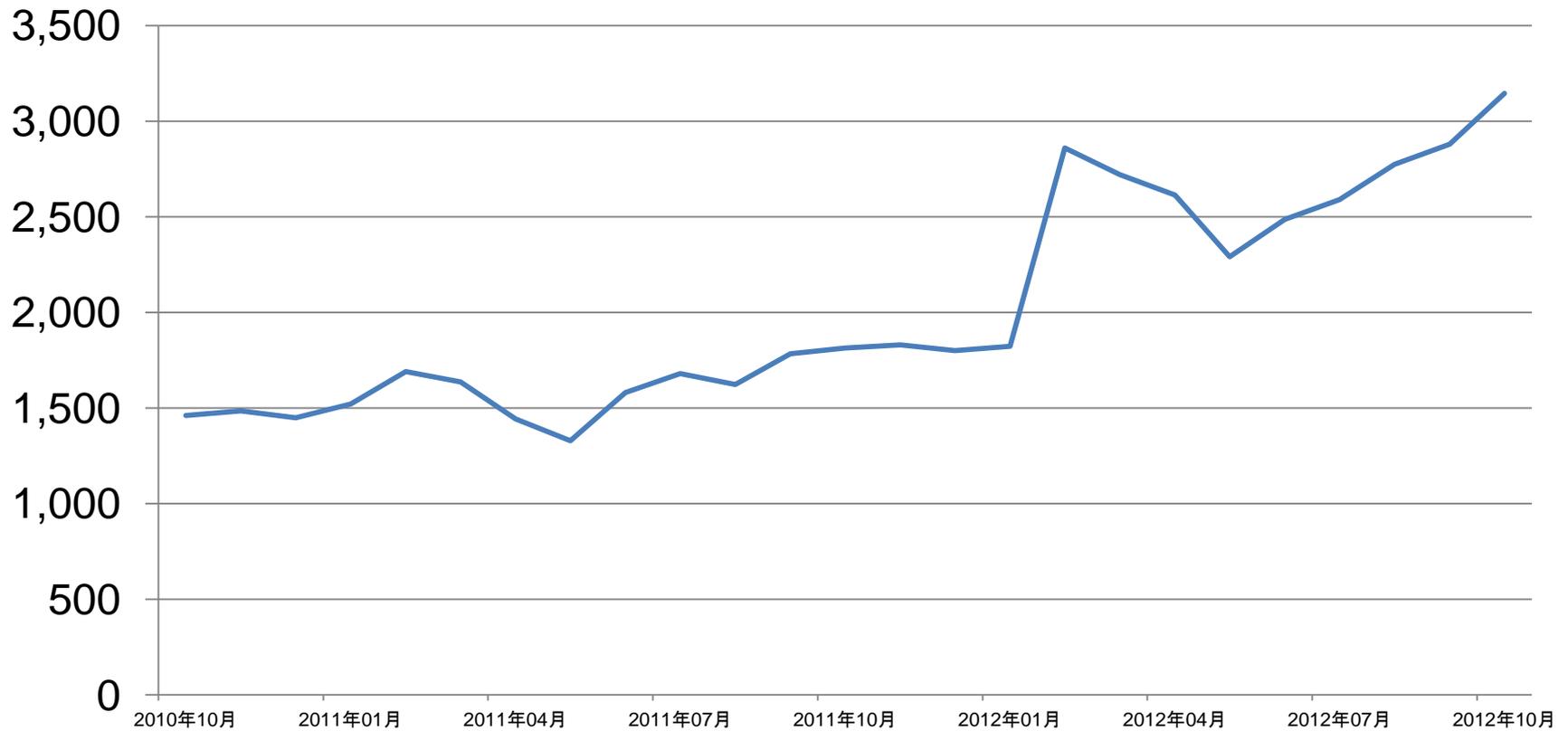
【単位：百万円】



当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。
そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

株価の推移 (2010年10月～2012年10月 月終値)

【単位:円】



6. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長 宮崎 勝

取締役経営管理部長 伊藤 純一郎